



水道管布設の様子（柳沢北浜地区土地区画整理地内）

③…石綿セメント管

石綿（アスベスト）繊維とセメントを原料として作られた水道管で、重量が軽く安価で施工性に優れていたため、昭和27年から昭和50年にかけて全国的に普及しました。しかし、耐用年数が短く衝撃に弱いため漏水の原因となっており、町では平成3年度からダクタイル鋳鉄管に布設替を行っています。

健康への影響について厚生労働省では、呼吸器からの吸入に比べ毒性は極めて少なく、水道水中のアスベスト残存量は問題になるレベルではないとしています。

質問 現在水道管に、北浜・柳沢地区で九百七十七戸、大浦地区で千五百戸のアスベスト管が使用されている。かつて平成十年にある議員が「アスベストは身体にとって有害といわれているので、アスベスト管は早急に交換してはどうか」という間に「平成十四年までにダクタイル鋳鉄管に交

換を完了予定だ」と答えているが、今だそのままの状態だ。
財政が厳しいのは分かるが先へ延ばさず、この事柄に関わる問題なので、気が付いた時点ですばやく交換すべきと思うが、どうか。
佐々木水道事業所長 厚生労働省での石綿セメント管の考え方は、健康的には



佐藤忠暉議員

施設整備

アスベスト管の交換を

安全だと言うより大丈夫だ

大丈夫だと言っているのだから、安全だと言うよりは大丈夫だと考えている。

沼崎町長 今問題になっ

ているのは、肺から鉍物繊維を吸入することによって中皮腫になり肺がんになるということである。
水道管に石綿管を使っているが、一〇〇割溶けだすことは誰も考えていないと思う。水道水の中に繊維のいくらかが混じったとしても、それは胃や腸から吸収されることではない。

議員6人が一般質問

総務行政

町独自事業の検討を

質問内容が理解できず

質問 山田町が市町村合併に参入せず、独自で生きて行くためには、財源の減少などから、かなり厳しいと考える。

そこで、山田町の独自事業について提案したい。

①町民との協働による「行政運営推進条例」（仮称）を設けてはどうか。

②地方自立計画・行政パートナー制度を導入しては。

③「町民が創る町民の山田町」の実証に向かって「行政運営基本条例」（仮称）を設けてはどうか。

④町民委員会を設置し、町政運営基本条例に基づき設置した委員会で、町民自身による、第2の町役場を目指してはどうか。
⑤「山田町長等政治倫理条例」を制定してはどうか。
⑥町民委員会が「山田町の予算」を編成しては。

沼崎町長

①④と⑥は質問内容が理解できず、再質問で説明願いたい。

⑤公職選挙法などで律しられており、現状で特に問題は無い。